

# ひなたぼっこ通信

2017年  
5月号

## ケアハウスから

「春はつららかに」1階

富士見町にもようやく春の気配が感じられるようになりまして。利用者様の表情にも、春の暖かい日差しが差し込んでいっているように思えます。

先日、諏訪ダンスス

クールの皆さんによる、社交ダンスの鑑賞会がありました。色とりどりの鮮やかな衣装、軽やかなダンスに、利用者みなさんの笑顔がこぼれていました。

鑑賞会の最後にはダンススクールの皆さんのリードで、利用者みなさんも一緒に踊られました。心に残る春の一日になりました。(き)

「積極的に動けるように」2階

私がひなたぼっこに来て、1カ月が経ちました。介護の経験は長いのですが、ケアハウスのような施設で働くのは、約6年ぶりになります。右も左も分からない自分に、利用者さんや先輩方が優しく接してくださり、とても感謝しています。

おかげで仕事にもだいぶ慣れ、積極的に動けるようになりました。利用者さんと関わるたびに、



「声が大きく元気ね。」「そんなこともできるようになったのね。」「手際よくパッド交換してくれてありがとう。」「等々、お褒めの言葉を投げかけてもらい、自信にもなります。

これからもケアハウスの先輩方や利用者様に支えられながら、日々頑張っていきたいと思えます。

(い)

## グループホームから

「誕生日会」1階

A様の誕生日の午前中に、「今日お誕生日です！」と何度か声を掛けました。あまりわかっていない様子にみえたA様でしたが・・・。

午後になり、休憩返上でホットケーキを焼いて手作りケーキを完成させ、誕生日会に移りました。

みんなで手拍子に合わせて、A様にハッピーソングの歌を歌っていました。すると急に、みんなの方を向き「ありがとう」と涙を浮かべながら言われていました。

みんなの気持がA様に伝わり、A様の気持もみんなに伝わった良い誕生日会になりました。ケーキも大好評で、ご飯を残された方もケーキは完食でした。



「大正琴で大合唱」2階

4月13日にグループホーム2Fに大正琴のポランティアの方が来て下さいました。歌詞カードを手に、大正琴の美しい音色に合わせて、利用者みなさんの大合唱！

外で休憩中の職員の耳にまで届いてきました。一曲歌い終る度に拍手が起り、みなさん、とても良い表情をされていました。

最後の曲が終わると

「いい音色だったね」

「とても楽しかった！また来て下さいね」とポランティアの方に話されていました。

## 宅幼老所から 「お花見」

4月に入り、だんだん暖かい日が多くなってきましたね。富士見でも桜の花が咲きだした頃、宅幼老所の利用者みなさままで烏帽子までお花見をしに出かけました。

日にちを分けて順に行きましたが、この日はお屋前に出発し公園のベンチに腰掛け、桜の木の下でお弁当を召

し上がりまし

た。天気も良

く気持ちのい

い風が吹き、

絶好のお花見

日和の中で満

開の桜を見なが



飯はまさに格別！みなさまの顔には笑顔が溢れ、  
「去年も行ったけど、今年も行ってよかった！」  
と言ってくれました。

また来年もみなさんでお花見に出かけましょ  
うね！

「写真を撮る喜びをもう一度」

宅幼老所には、写真を撮ることが好きな全言  
の方がいらっしやいます。「コンテストにおいて  
数々の賞を受賞されたことのある方です。

そこで、今年入職したカメラマンの仕事もして  
いる職員が、

”目が見えなくなってしまうって、写真を撮る楽  
しさをまた感じて欲しい！”との思いから一緒に  
写真を撮って生活展に出品するという企画を立て、  
利用者様と一緒に取り組まれています。

この日は職員がJOLIFLEXというメーカー  
の二眼レフカメラを持参しました。

すると、「JOLIFLEXなんて、最高級のカメラ  
だね！」と、利用者様はとても驚かれていますし  
やいました。この写真は  
アルストロメリアの  
花を撮影されて  
いる様子です。

今後素敵

な写真がたくさ

ん撮られるのだと

思うと、職員一同で

もわくわくした気持ちでいっぱいです。



利用者様の文芸コーナー

ひなたぼっこの利用者様は、みなさん俳人や歌  
人です。多くの作品の中からいくつかの俳句を紹  
介します。

・ なつかしく 上野洗足 池の舟  
・ ありがたく 上げ膳据え膳 春の味

・ 小谷村 あずみの奥に 生まれ来て

・ 今思う 今が良ければ すべてよし

・ 路の臺 食めば流るる 涙かな

・ 路の臺 置きて食の 進みゆく

・ 夕食の メインディッシュは 路の臺

路の臺

・ 心映え 包み込みたる 路の臺

・ 幸せを ギュギュっと詰めて 路の臺

路の臺

・ 夕食の 主菜と決めし 路の臺

山里の春の恵。ほろ苦い春の味  
を何句も歌いこんだ、そのお気持ちに「また、春を迎える事が出来  
た」という喜びが伝わって来るよ  
うです。そして、年を経て「今思  
う」こと、それは、「今が良けれ  
ばすべてよし」ということ。積み  
重ねた年月が、このような思いと  
して言葉になるのですね。人生の  
達人の言葉に、はっとして背筋が  
伸びる思いになります。

放課後等デイの準備室から

9月に開所の予定で、障害児のための「放課後  
等デイ」の事業を立ち上げる準備に追われていま  
す。障害を持った子ども達が、豊かに放課後を過  
ごしたり、夏休みなどを過ごしたりできるように  
支援していく事業です。

昨日は、富士見町のコミュニティセンターで説  
明会を行いました。保護者の方々や行政などの関  
係者の参加も多くあり、みなさんの期待の高さを  
感じました。「理念のひとつに(保護者の就労保障)  
とあるが、毎日通わせてくれるんですか」「送迎は  
どの範囲を考慮していますか」「スタッフはどんな人  
がいますか」などと、一つ一つが具体的な質問で  
した。そうした期待や要望に、出来る限り応えら  
れるようにしたいと思います。

小さな放課後クラブですが、そこに通う子供た  
ちが「あー面白かった」「また明日も楽しみだな」  
と思える内容を作っていくかなければいけないとの  
思いを新たにしました。クラブの子ども達と近所  
のスーパ―に買い物に行ったり、時には電車でお  
出かけしたりして、楽しみながら「生きる力を」  
伸ばしていけたらと、わくわくしているところで  
す。

ところで、この放課後等デイの事業に関心のある方、特に保育士や教諭の資格のある方、また、  
そのような方が知り合いにいらっしゃるという方、ぜひ、  
ひなたぼっこに連絡を下さい。お待ちしております。



発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336